

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2020-26(P2020-26A)
 【公開日】令和2年1月9日(2020.1.9)
 【年通号数】公開・登録公報2020-001
 【出願番号】特願2018-120267(P2018-120267)
 【国際特許分類】

A 2 3 L 7/10 (2016.01)

【F I】

A 2 3 L 7/10 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月24日(2021.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

常法の量の水を加えて炊いた米飯に、水を含む所定の量の液体を吸収させる水分吸収ステップと、

前記水分吸収ステップで液体を吸収させた米飯を凍結する凍結ステップと、

前記凍結した米飯と、所定の量のスープを凍結した複数の氷片とを混合する混合ステップと

を備えることを特徴とする冷凍粥製造方法。

【請求項2】

前記水分吸収ステップは、所定時間、室温より高い所定の温度で実行することを特徴とする請求項1に記載の冷凍粥製造方法。

【請求項3】

前記水分吸収ステップにおける液体の所定の量は、重量で前記米飯の80～86%であり、前記スープの所定の量は、前記米飯の70～76%であることを特徴とする請求項1または2に記載の冷凍粥製造方法。

【請求項4】

前記液体は、前記スープであることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載の冷凍粥製造方法。

【請求項5】

前記複数の氷片は、水またはスープを凍結した後粉碎して粒状にして製造されることを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の冷凍粥製造方法。

【請求項6】

請求項1ないし5のいずれかに記載の冷凍粥製造方法により製造した冷凍粥。

【請求項7】

前記混合ステップにより混合された凍結した米飯および複数の氷片を充填する電子レンジ解凍加熱用包装手段を備えたことと特徴とする請求項6に記載の冷凍粥。

【請求項8】

請求項6または7に記載の冷凍粥を加熱して解凍する冷凍粥解凍方法であって、

前記加熱により、前記解凍加熱用包装手段に封入された複数の氷片を解凍して水にする氷片解凍ステップと、

前記解凍された水をさらに加熱して、所定の内圧を超えると加熱を停止する加熱停止ステップと

を備えたことを特徴とする冷凍粥解凍方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の冷凍粥製造方法において、複数の氷片は、水またはスープを凍結した後粉碎して粒状にして製造されることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 6 に記載の発明は、冷凍粥であって、請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の冷凍粥製造方法により製造したことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 6 に記載の冷凍粥であって、混合ステップにより混合された凍結した米飯および複数の氷片を充填する電子レンジ解凍加熱用包装手段を備えたことと特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項 8 に記載の発明は、請求項 6 または 7 に記載の冷凍粥を加熱して解凍する冷凍粥解凍方法であって、加熱により、解凍加熱用包装手段に封入された複数の氷片を解凍して水にする氷片解凍ステップと、解凍された水をさらに加熱して、所定の内圧を超えると加熱を停止する加熱停止ステップとを備えたことを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】